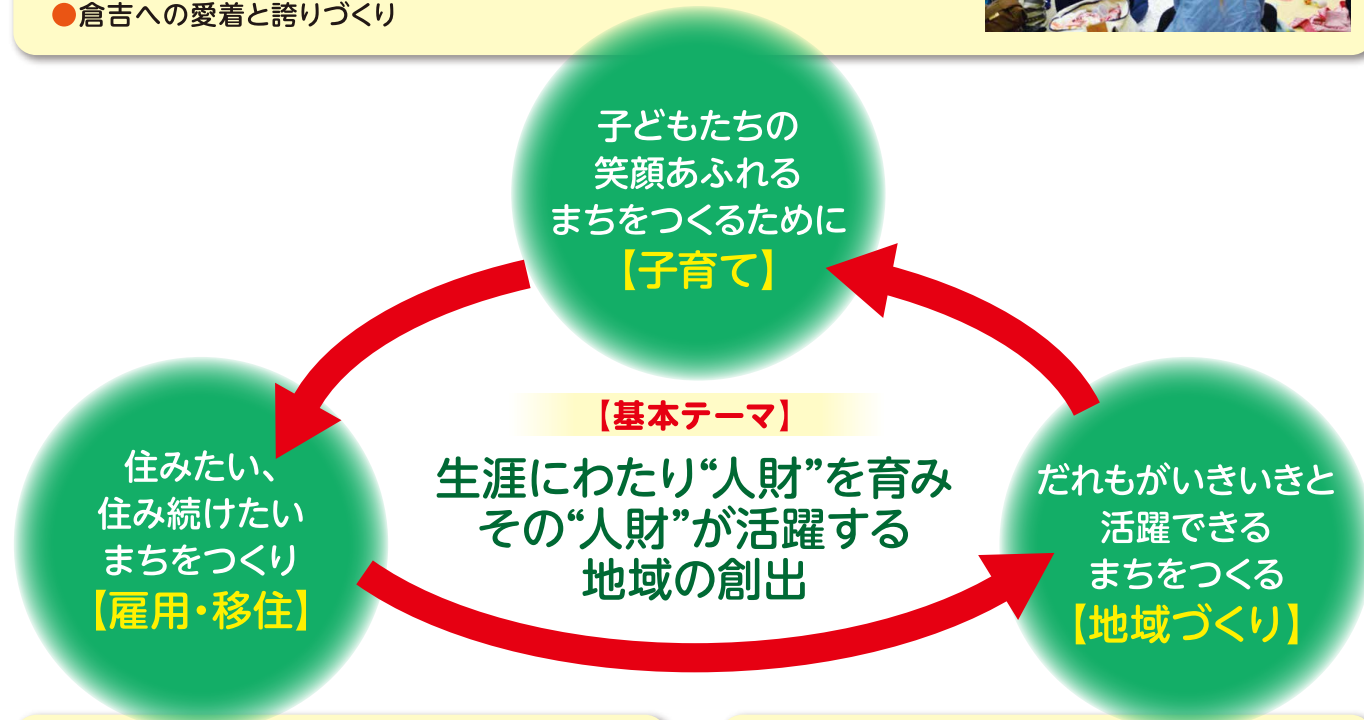


戦略プロジェクト

将来都市像の実現に向け、特に取り組むべき基本テーマを「生涯にわたり“人財”を育み、その“人財”が活躍する地域の創出」と定め、まちづくりの方針の中から横断的に進める施策群を設定します。

すべての親たちが倉吉市で子どもを産み、育てる喜びを実感でき、子どもたちにとっても、このまちで生まれ育ったことに愛着と誇りを持つことができるよう、地域ぐるみで子どもたちの笑顔があふれるまちづくりを進めます。

- 子育て世代の負担軽減
- 出会いの機会の強化
- 豊かな心とたくましく生きる力をもつ子どもの育成
- 倉吉への愛着と誇りづくり



倉吉の産業を元気にし、多くの若者たちにとって魅力ある雇用の場を確保し、ゆとりと潤いを感じながら、いつまでも安全・安心で快適に暮らすことができるまちづくりを進めます。

- 農林水産業の倉吉ブランドの確立
- 80歳まで稼げる農林水産業の確立
- ものづくりの競争力を高める環境整備
- 安定した雇用基盤の整備
- 観光振興による交流人口の拡大
- 移住希望者をあたたかく迎え入れる体制整備
- にぎわいのあるまちなかの再生



自助・共助・公助を組み合わせながら、だれもが住み慣れた地域の中で、いつまでも自立していきいきと自分らしく活躍することができるまちづくりを進めます。



- 高齢者の活躍による地域の担い手と活力づくり
- 障がいがあっても安心して活躍できる環境づくり
- 女性が活躍できる環境づくり
- 人が集い魅力ある地域づくり
- 地元大学生の力による地域づくり
- 自ら志を持ち、地域に貢献できる人財の育成
- 市民参画と協働のまちづくりを支える仕組の充実



「くらしよいふるさとを」

近年、国内の社会経済動向が激しく変化する一方、行政サービスへの人々のニーズが多様化・高度化しており、今後ますます財政上の制約が高まる中で、行政がすべてを一手に引き受け、単独で解決していくことは限界に差しかかっています。

このような状況下、倉吉市では、市の行政運営を総合的かつ計画的に進めていくための指針として、「くらしよし”ふるさとビジョン（第11次倉吉市総合計画【後期基本計画】）」を策定しました。

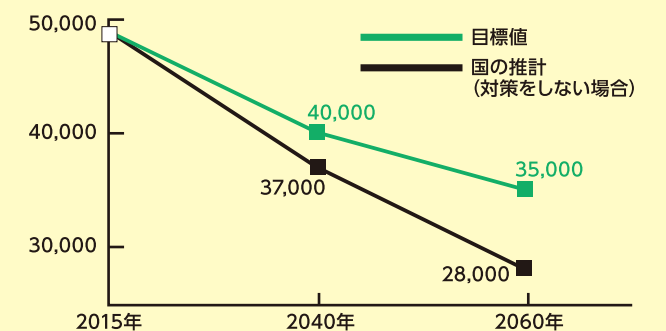
また、これに当たっては、平成27年度に策定した「倉吉市未来いきいき総合戦略」と連動させながら、人口減少対策や地域経済の発展を見据え、生涯にわたり「人財」を育み、その「人財」が活躍する地域の創出を併せて推進していくこととしました。

生まれ育った「まち」に愛着と誇りを持ち、暮らしたい、暮らし続けたい「まち」を創出し、生涯にわたり健康でいきいきとした市民生活が送られるよう、市民の皆様と共に「くらしよし”倉吉の実現を目指し、「そうだ!倉吉で暮らそう。」と実感していただけるよう、次世代に誇りと自信を持って継承できるまちづくりを進めていきます。

2040年で市の人口4万人維持を目指します!

倉吉市では、充実した子育て環境を整備することなどにより、出生率を上昇させ、現状の出生数400人を今後も維持します。あわせて、IJUターンの呼び込みなどにより、若者の移住者を年間30人確保し、人口流出を20%改善します。

これにより、現在の約49,000人から2060年(平成72年)には約28,000人まで減少するといわれている市の人口を、2040年には40,000人、2060年には35,000人を確保し、将来にわたって活力あるまちの維持に努めます。





まちづくりの基本姿勢

すべての分野に共通する倉吉市のまちづくりの基本となる考え方を、基本姿勢として示します。

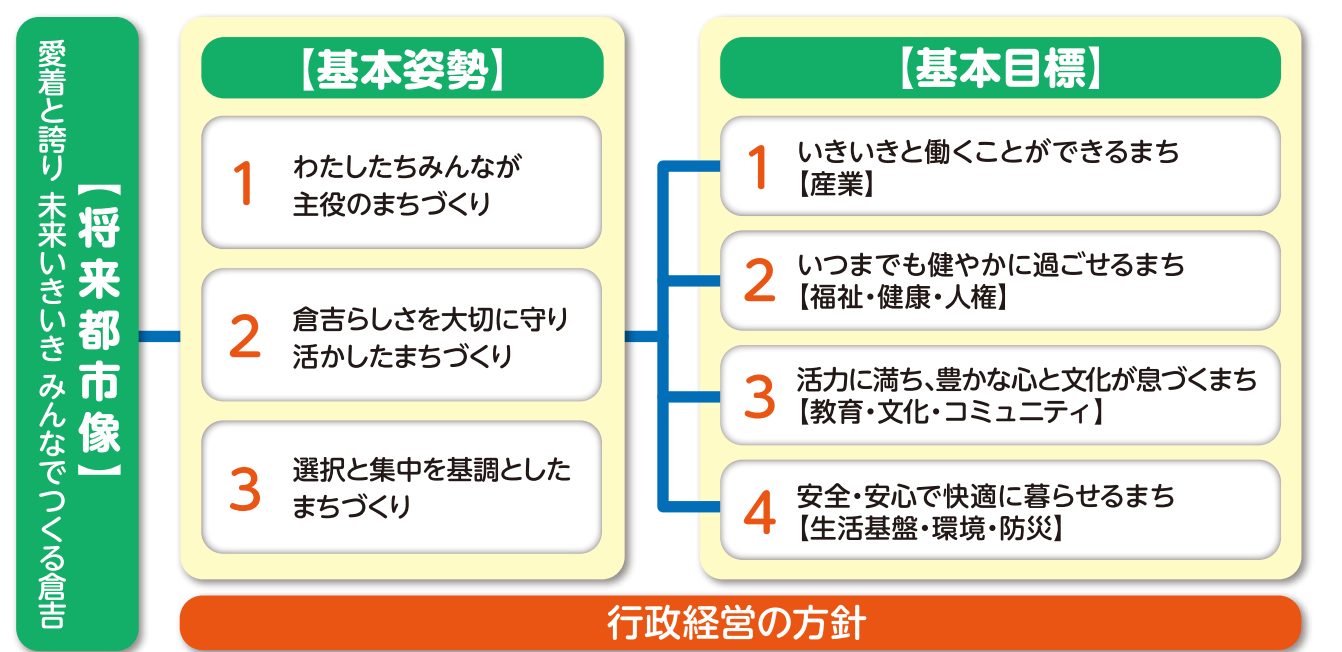
- ### 基本姿勢 1 わたしたちみんなが主役のまちづくり

多様化・高度化している地域課題に素早く対応するため、自助・共助・公助をバランスよく組み合わせながら、さまざまな分野で市民と行政の連携・協働による取組をさらに強化し、わたしたちみんなが主役のまちづくりを進めます。
- ### 基本姿勢 2 倉吉らしさを大切に守り活かしたまちづくり

今後ますます厳しくなる都市間競争を踏まえ、まちの自立性を高めていくため、豊かな自然環境、都市機能の既存ストック、豊かな歴史と伝統文化など、倉吉ならではの多彩な魅力や特徴を大切に守り活かし、他の都市には真似のできない、個性豊かなまちづくりを進めます。
- ### 基本姿勢 3 選択と集中を基調としたまちづくり

わたしたちみんなが住み慣れた地域の中で、安心して暮らすことができる持続可能な地域社会を確立していくため、まち全体から見た重要性や緊急性などを十分考えながら、限りある行政資源をより効果的・効率的に配分する「選択と集中」に基づくまちづくりを進めます。

施策の体系図



まちづくりの基本目標

- ### ① いきいきと働くことができるまち【産業】

農林水産物や地場産品、歴史と伝統に培われた観光資源など、さまざまな地域資源のブランド力を高め、多様なものづくりを積極的に展開し、所得を産み出すことでみんながいきいきと働けるまちを目指します。
- ### ② いつまでも健やかに過ごせるまち【福祉・健康・人権】

子育て家庭や一人暮らしの高齢者など、支援を必要とする人たちをみんなで協力しながら支え合い、だれもがいつまでも健やかに、いきいきと、自分らしく過ごすことができるまちを目指します。
- ### ③ 活気に満ち、豊かな心と文化が息づくまち【教育・文化・コミュニティ】

生涯学習・スポーツの場を提供し、自然・伝統文化などの倉吉市の良さを守り、育て、伝えていくための取組を進め、より多くの人達がまちづくりの担い手として活躍できる仕組を充実させることで、地域主体のまちづくりの展開を支援し、活気に満ちあふれ、豊かな心と文化が息づくまちを目指します。
- ### ④ 安全・安心で快適に暮らせるまち【生活基盤・環境・防災】

だれもがいつまでも住み続けたい、住んでみたいと思える魅力とうるおいに満ちあふれた倉吉市の確立に向け、暮らしと経済活動を支える生活基盤施設の整備や維持管理を計画的に進めます。市民の参画と協働に支えられたまちづくりを展開し、みんながより安全・安心で快適に暮らせるまちを目指します。



将来都市像の実現に向けて(行政経営の方針)

以下の行政経営の方針に基づき、限りある行政資源をより一層効果的・効率的に活用しながら、ビジョンに基づくさまざまな取組を着実に進めます。

